

シ 上野焼協同組合がマイちょこセット発売
シャレの効いたおしゃれな贈り物

「バレンタインにおちょこを贈ろう」と、上野焼協同組合15窯元作成のお猪口を博多織の巾着袋に包んだ「マイちょこセット」が同陶芸会館で2月1日から14日まで売り出されました。昨年わずか4日間で完売したヒット商品で、今年は底に「LOVE」と書き込むなど若者向けの作品も登場。リピーターやメディアの紹介で200セットがほぼ完売と盛況でした。



↑福岡県が誇る伝統工芸のコラボレーションに県外からの注文も相次ぎました。

↓背筋を伸ばしてしっかりと意見を伝えた紫村さん、演題は「あいさつの力」。



大 わたしの主張田川地区大会
大舞台でさわやかに発言

田川地区の小中学生が、社会への意見などを発表する「わたしの主張大会」が2月7日に地域交流センターで行われました。市町村大会を勝ち抜いた9人がステージに立ち、それぞれのテーマを主張。福智町を代表した金田小6年の紫村彩乃さん(神崎)は「これからもみんなを元気に与えるようなあいさつを続けていきたい」と240人の観客に語りかけました。

↓いよいよ最後の盛りつけ、食進会の丁寧な指導で慎重に仕上げられました。



腕 男性料理教室
腕を振るった男の料理

町食生活改善推進委員会主催「男性料理教室」が2月に町内3保健センターで行われました。教室は食材を変えて4回実施され、計47人が参加。三角きんとエプロンに身を包んだやる気満々の料理人たちが、栄養や健康のことを考えたメニューを調理しました。試食後は「思ったよりうまい。家でもぜひ作ってみたい」と自らの味に満足した様子でした。

↓コート狭しと駆け回った小学校低学年の部。ゴール前から強烈なシュート。



技 子ども会フットサル大会
技術も戦術もハイレベルに

町子育連主催のフットサル大会が、2月15日に中央公民館と赤池体育センターで行われました。フットサルは、1チーム5人の5分ハーフルールで楽しめる手軽な室内サッカー競技。この大会に町内から20チーム約120人の少年少女が参加し、小学校低学年・高学年と中学生の部に分かれて進められました。6回目と回数を重ねた今年は参加人数も増え、さらに技術もレベルアップ。相手選手にマークを付ける緻密な戦術や華麗なパス回しなど、見応えあるプレーを繰り広げていました。

白 桑野ソノさん99歳の句会仲間が合同句集を制作
白寿を祝う句集に感謝の笑顔

俳句歴40年桑野ソノさん(伊方)の白寿を祝う合同句集「白寿」が完成しました。桑野さんが利用しているデサービスセンターはな(弁城)に昨年7月、白寿記念石碑(写真中央)を設置。これをきっかけに、師事する池田一歩さん(赤池)主宰のホトギス句会の仲間たちが、桑野さんの71句と親交の深い同句会14人の俳句を含む計約750句をまとめました。



↑「皆さまに心から感謝します」と友人に囲まれほほ笑む桑野ソノさん(前列右)

桜 作曲家岩崎記代子さんが虎尾桜の歌を寄贈
桜の保存にオリジナル曲で協力

「町が誇る素晴らしい桜に感銘しました。保存活動にこの歌をぜひ役立ててほしい」と、声楽・作曲家として著名な岩崎記代子さん(太宰府市)が「虎尾桜の歌」を作曲。田川市出身で、同曲作成のきっかけとなった詩を作った村上寿浩さん(福岡市)や音楽講座の生徒と1月22日赤池支所に来庁し、CDと楽譜を「虎尾桜を心配する世話人会」に寄贈しました。



↑熊谷信孝会長にCDと楽譜を手渡す岩崎記代子さん、隣は作詞の村上寿浩さん。

↓夢にまで見た雪だるまや雪合戦、ウィ・ウィ・ワ広場で雪遊びを満喫しました。



例 平成20年度中城村・福智町交流会
例年になく大雪に迎えられ

子どもたちの相互ホームステイを続けている沖縄県中城村との交流で小学5・6年生11人が来町し、1月23日から2泊3日で福智町の児童62人と交友を深めました。雪を知らない中城の子のために例年は英彦山まで足を運んでいましたが、今回は寒波に見舞われ珍しく町内も積雪。今年の交流会は福智の雪に歓迎された、思い出深いものとなりました。